

機械器具 51 医療用嚢管及び体液誘導管

管理医療機器 ネラトンカテーテル JMDN : 10734000
* (管理医療機器 腸管用チューブ JMDN : 35415020)
(管理医療機器 気管支吸引用カテーテル JMDN : 31249000)

ザ ヘルス ロートネラトンカテーテル

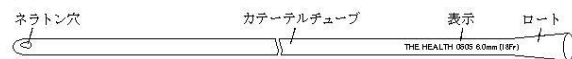
再使用禁止

【禁忌・禁止】

- 再使用禁止
- 過去に「天然ゴム」によるアレルギー症状を経験している患者への使用は禁止。

【形状・構造及び原理等】

本品は単管のカテーテルであり、天然ゴムを使用している。
標準型（ネラトン穴）



*** C型（先穴1，側孔2）



*** 【使用目的、効能又は効果】

膀胱に挿入し、貯留した尿を導尿、採尿、膀胱洗浄を行なうためのカテーテルである。直腸に挿入して液体の除去及び排気を使用される場合もある。または口腔、鼻腔、咽喉、喉頭の気道における分泌物の吸引用に用いられる場合もある。

【品目仕様等】

引張強度 外径 3.3mm 以上 : 1.0 kg
外径 3.3mm 未満 : 0.75 kg

【操作方法又は使用方法等】

- ・本品は医療機器です。取扱いについては、教育された医療従事者が適切に行うこと。
- ・本品はディスプレイ製品ですので、再使用はしないこと。
- ・本品の使用に際しては、上記使用目的のみとし、他の目的に使用しないこと。

導尿用としての使用方法

1. 滅菌手袋を装着した右手でカテーテルを持ち、キシロカインゼリー等の潤滑剤を滅菌ガーゼに載せて、カテーテル先端からシヤフト部分に十分塗布する。
2. 男性患者の場合は、仰臥位をとらせ、陰茎を真上に立たせるように持ち上げて、そのまま保持しながらカテーテルの先端を外尿道口から挿入する。
3. 挿入は、尿道の長さ（男性：16～20cm、女性：約 4 cm）を目安に、ゆっくり進める。その際、かん子を使用してカテーテルを保持しても良い。
4. カテーテル先端が膀胱内に進入したら、採尿瓶や採尿バックを用いて尿を採尿する。

直腸用としての使用方法

1. 腸内洗浄液の選択並びに 1 回投与量、時間及び回数など洗腸方法については、医師の指導に従うこと。

2. 洗浄液（約 37℃）をイリガートルに投入し、カテーテルまで充填し、クレンメで止める。
3. カテーテル先端部分の適切な長さを経肛門的に（人工肛門含む）挿入し、腸内洗浄液の注入、洗浄及び排水を繰り返す。

分泌物吸引用としての使用方法

1. 手指を洗い、プラスチックグローブ、ビニールエプロン、サージカルマスクを装着する。
2. カテーテルの接続部を持ち、吸引チューブと接続し、せついでカテーテル先端を持つ。
3. カテーテルは、あらかじめ洗浄水を吸引し、内腔のすべりを良くしておく。
4. 吸引圧をかけないまま、カテーテルを挿入する。
5. 十分な深さまで挿入後、粘膜を傷つけないように吸引圧（10.7～15.9kPa）をかけ、カテーテルを引きながら吸引する。

【使用上の注意】

1. 使用注意
 - ・天然ゴムは、かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状を、まれに起こすことがある。このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談すること。
2. 重要な基本的注意事項
 - ・取扱いについては教育された医療従事者が適切に行なうこと。
 - ・患者の体質や解剖学的構造を考慮し、適切なサイズのカテーテルを選択すること。
 - ・包装が破損、汚損している場合は使用しないこと。
 - ・孔を開けるなどの追加加工を施して使用しないこと。
 - ・万一製品にキズ、異物、劣化など発見した場合は使用しないこと。
 - ・刃物等鋭利な器具に触れると切断する恐れがあるので注意すること。
 - ・気管吸引用を使用する場合は、特に清潔に留意し、カテーテルは口腔・鼻腔内吸引用と気管吸引用を区別して使用すること。
 - ・気管吸引用に用いるカテーテルの外径は、気管内チューブ内径の 2 分の 1 以下とすること。
 - ・成人の吸引圧は 10.7～15.9kPa が安全かつ効果的であり、少なくとも 26.6kPa を超えないこと。また、吸引時間は短時間（一般的には 10～15 秒以内）で行うこと。
 - ・痰の粘調度が高い場合は、加湿、水分補給、ネブライザー吸入などを考慮すること。また、効果的な吸引のため、呼吸理学療法や体位変換にて気管支上部に痰を移動させることも併用する。
 - ・使用後は感染防止に留意し、安全な方法で処分すること。
3. 相互作用
 - ・薬品によっては膨潤したり、浸透・着色・脱色したりする場合があるので、使用前に確認の上で使用する。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 貯蔵・保管方法
 - ・直射日光、高温多湿、水ぬれを避けて冷暗所に保管すること。
2. 使用の期限
 - ・包装に記載された滅菌年月日より 3 年以内。

【包装】

5 本／箱入り

【主要文献及び文献請求先】

1. 主要文献

- (1) 荒川創一,尿道カテーテルによる感染を起こさないための看護:
INFECTION CONTROL,5(3)42-45,1996
- (2) 畑尾正彦 他 監修, 導尿、ナースのためのチューブ管理マニュアル: 学研,200-205,1998
- (3) 松永佳世子、矢上品子,ラテックスアレルギー安全対策ガイドライン 2006 誕生編および皮膚科編:
日本ラテックスアレルギー研究会会誌,vol.10 No.1,32-40, 2006

2. 文献請求先

株式会社 イズモヘルス 品質保証課
〒399-7104
長野県安曇野市明科七貴6057番地
TEL: 0263-62-2392
FAX: 0263-62-4548

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者: 株式会社 イズモヘルス
〒399-7104
長野県安曇野市明科七貴6057番地
TEL: 0263-62-2392
製造業者: 株式会社 イズモヘルス